

夏季高温年でも果皮着色に優れるリンゴ品種「シナノホッペ」

農業総合センター山間地帯特産指導所

【研究の概要】

本県の気候は他県のリンゴ主産地と比較して温暖な気象条件下にあり、夏季が高温の年には一部で果皮の着色不良や果実品質の低下等の発生が見られています。特に令和5年は、10月初旬から収穫する「陽光」や11月上中旬から収穫する「ふじ」でも夏季の異常高温が原因と思われる果実品質の低下が確認されました。当所では他県等の育成品種の中から、本県気象条件下でも果実品質が優れるリンゴ品種として「シナノホッペ」を選定し、本県での栽培特性を明らかにしました。

「シナノホッペ」の特性

- 長野県育成品種。交配組み合わせは「あかね」×「ふじ」。
- 果実重は400g前後で「ふじ」よりやや大きく、形状は扁円形～扁円錐形。
- 果皮の着色は良好で、R5年の特異的な夏季高温年においても収穫期間を通して安定して着色します。
- 糖度やミツ入り程度は「ふじ」と同等かそれ以上、併せて食感の評価が高く、食味は良好です。
- 収穫期間が40日程度と長く、収量はふじ着色系統「長ふ12」と同程度。
- S遺伝子型はS₇S₇で「ふじ」「陽光」「ぐんま名月」等と交雑可能です。



写真 シナノホッペの外観と切断面

表 「シナノホッペ」の生育及び果実特性

品種・系統 ¹⁾	台木	樹齢	果皮色	一果重 ²⁾ (g)	表面色 (1~6) ^{3) 4)}			糖度 ²⁾ (Brix%)	ミツ入り 程度 ²⁾ (0-4)	収穫期 ²⁾			収穫 期間 (日)	収量 (t/10a) ⁵⁾		
					R3 (17.7°C)	R4 (18.2°C)	R5 (19.0°C)			始	盛	終		R3	R4	R5
シナノホッペ	JM7	9	暗紅	397	5.9	5.7	6.1	14.8	2.4	10/16	10/29	11/25	41	1.8	2.4	2.9
陽光 (対照)	マルバ	42	赤	374	5.1	5.0	3.5	13.3	0.1	10/1	10/13	10/27	27	5.1	6.3	4.2
ふじ (対照)	マルバ	53	濃赤	367	5.4	4.6	3.3	14.1	1.7	11/10	11/21	11/29	20	5.4	4.2	3.0
長ふ12 (対照)	M9EMLA	9	-	-	-	-	-	-	-	11/15	11/18	11/18	-	2.0	2.8	2.9

1) 調査樹本数はシナノホッペ3本、陽光・ふじ・長ふ12 各1本 2) 3年間の平均を算出 3) 「ふじ」用表面色カラーチャートで判定

4) 下段()内は所内観測による8-11月の平均気温。平年値(直近10カ年)17.8°C

5) 1樹あたり収量と栽植密度から算出 栽植密度: シナノホッペ・長ふ12 100本/10a (4.0m×2.5m植え) 陽光・ふじ 18本/10a (7.5m×7.5m植え)

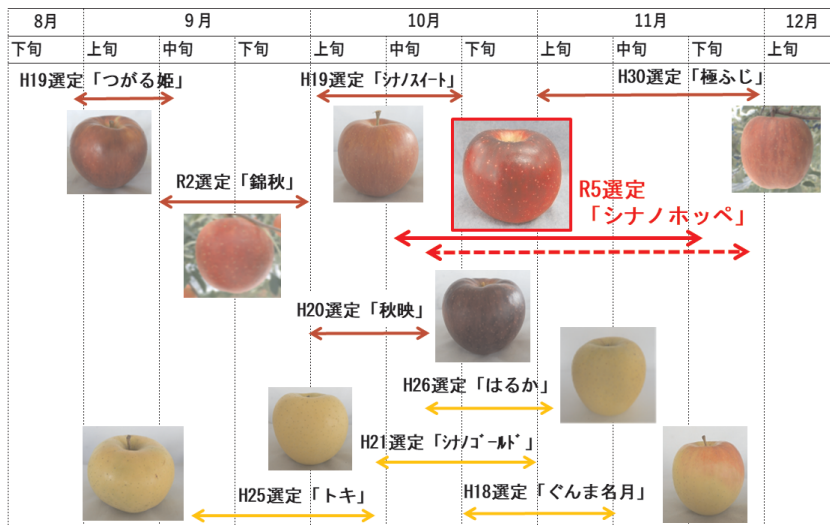


図 「シナノホッペ」と当所で過去に選定した品種・系統の収穫期

矢印は「シナノホッペ」では実線がR5年、点線がR4年、その他の品種・系統では選定当時の収穫期間を示す

【将来の展望】

高温の影響と思われる収量・品質の低下、収穫期間の短期化が見られる品種を栽培する園地において「シナノホッペ」を導入することにより、温暖化に強い園地への転換が図られ、生産者の所得の安定化が期待されます。